

荷物用エレベーター  
かご・乗り場押上戸用ワイヤロープの点検方法について

この度、荷物用エレベーターのかご及び乗り場の押上戸に使用しているワイヤロープにつきまして、点検方法や交換目安などの技術情報についてお知らせいたします。

今後、かご及び乗り場の押上戸ワイヤロープについては、下記をご参照頂きワイヤロープの点検及び交換を行って頂けますようお願いいたします。

昇降機の安全な運行のため、維持管理のほどお願い申し上げます。

記

(1) ワイヤロープ

名称：押上戸 低速戸駆動用ワイヤロープ

仕様：φ6mm E種 6xS(19) 平行より

名称：押上戸 中速戸連動用および高速戸連動用ワイヤロープ

仕様：φ6mm A種 6x19 片クランプ付

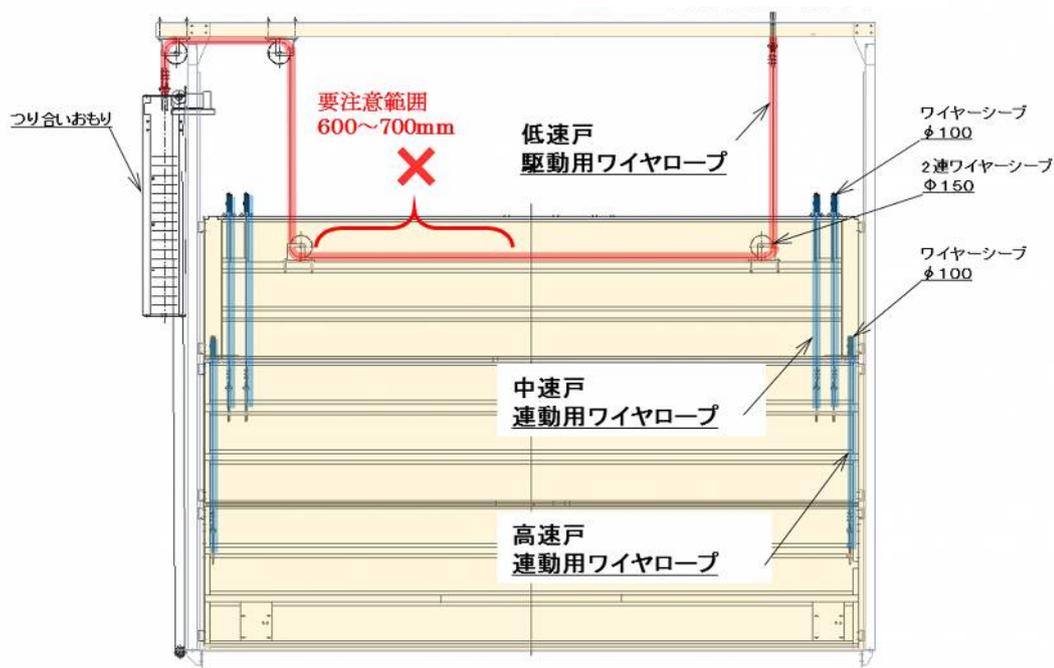


図1. 押上戸のワイヤロープ構造例（3枚戸）（戸閉状態）

## (2) 点検周期と交換目安

ワイヤロープの点検周期と交換目安を表1に示します。エレベーターの起動回数を確認し点検と交換を行ってください。

なお、戸の開閉回数を算定できる場合は、表中の起動回数を戸開閉回数と読み替えても構いません。

表1. 点検周期と交換目安

ワイヤロープ	点検周期	月間起動回数	交換目安
①低速戸：6mm E種 6xS(19) ②中・高速戸：6mm A種 6x19	5ヶ月	～2,000回	・素線切れが発生した ・累計起動回数20,000回超え のいずれか早い方
	2ヶ月	2,001～5,000回	
	1ヶ月	5,001回～	

## (3) 重要な点検箇所について

図1 に示す、低速戸ワイヤロープの×印の範囲は、ワイヤロープがS字形状に曲がり、繰り返して曲げ回数が多い箇所です。特に素線切れが発生しやすいため、重点的に点検をお願いします。

ワイヤロープの素線切れ例



S曲げ範囲(要注意範囲)では、左記写真のような素線切れが発生します。

## (4) 素線切れのチェック方法について

薄手の平織みウエス(メリヤスウエス)を使用し、人差し指と親指でワイヤロープをつまむようにしてなぞると効率よくチェックできます。

素線切れ箇所は明らかな引っ掛かりを感じるため、あとは目視で素線切れを探します。ワイヤー表面にホコリやゴミが付着していると、微妙な引っ掛かりがわかりづらいため、軽く表面を清掃してください。ただしパーツクリーナー等は使用厳禁です。ワイヤロープ内部のグリスまで除去されてしまい、寿命が短くなります。

薄手の平織みウエスの例

TRUSCO αメリヤスウエス汎用タイプ 品番：TMU-1A



以上